経 営 計 画

（２０１９年度～２０２１年度）

お客様へ「おもてなし」の心を忘れずに

２０１９年３月

千 葉 県 道 路 公 社

Ⅰ　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ －1－

（1）道路公社の役割と経営方針について
（2）計画策定にあたり

Ⅱ　計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ －3－

Ⅲ　公社の現状と課題について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ －3－

（1）2017 年度　各路線の交通量及び料金収入
（2）附帯事業
（3）受託事業
（4）経営状況
（5）今後の見通し
（6）公社経営の課題

Ⅳ　経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ －7－

（1）お客様へのサービス向上
（2）地域に貢献する取組の推進
（3）経営の健全化

Ⅴ　経営計画体系図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ -16-

Ⅶ　参考資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ -17-

Ⅰ．はじめに

（１）道路公社の役割と経営方針について

千葉県道路公社は、千葉県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的として、１９７１年５月に千葉県の出資により設立されました。

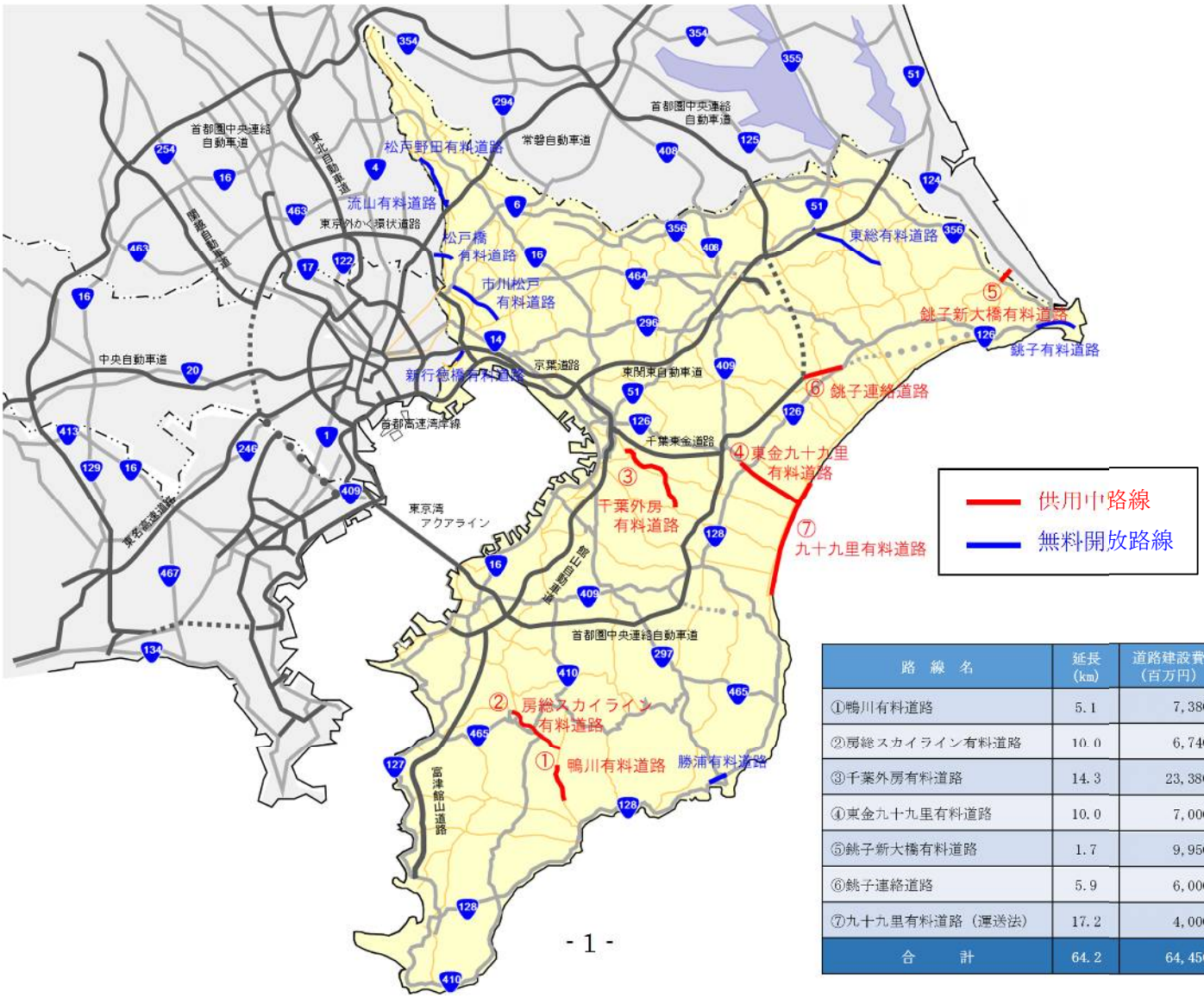
現在、道路公社では道路整備特別措置法に基づく道路を６路線、道路運送法に基づく道路を１路線、計７路線、延長で６４．２ｋｍの有料道路の管理運営を行っております。　また、これまでに新行徳橋有料道路をはじめ、８路線の有料道路を無料開放し千葉県へ引き継いだところです。

快適で地域に親しまれる有料道路を常に心がけ、お客様へのサービス向上と千葉県の発展に貢献するため、具体的な経営方針を以下のとおりとします。

１）お客様が満足し快適に利用できる道路を目指します。（満足度アップ）

２）地域の方々に親しまれ、地域の発展に貢献します。（地域活性化）

３）経営の健全化を推進し、事業運営の透明性を確保します。（経営健全化）



路　線　名	延長（km）	道路建設費（百万円）
①鴨川有料道路	5.1	7,380
②房総スカイライン有料道路	10.0	6,740
③千葉外房有料道路	14.3	23,380
④東金九十九里有料道路	10.0	7,000
⑤銚子新大橋有料道路	1.7	9,950
⑥銚子連絡道路	5.9	6,000
⑦九十九里有料道路（運送法）	17.2	4,000
合　　計	64.2	64,450

（２）計画策定にあたり

２０２０年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」では、千葉県も２箇所において競技が開催される予定であり、そのうちサーフィン会場となっている一宮町の「釣ヶ崎海岸」へは、道路公社が管理する東金九十九里有料道路と九十九里有料道路が関係者の輸送ルート（案）に示されています。

大会期間中は選手団だけでなく、国内・海外を問わず多くのお客様が千葉県へ来訪されることから、安全で安心して利用できる有料道路であることはもちろんのこと、「おもてなしの心」の精神を持ち快適に利用できる有料道路の管理運営を目指します。

一方で経営状況に目を向けると、長引く景気停滞や少子高齢化、そして近年では圏央道開通などによる道路ネットワークに変化が生じ、当公社が管理する有料道路の交通需要は変化しております。さらには、近年３路線の料金徴収期限満了を迎え、無料開放路線が増えていることから、道路公社を取り巻く環境は年々厳しさを増している状況であります。

このような状況の中、安定した公社経営を引き続き推進するため、経営方針の基づき中期経営計画（２０１９年度～２０２１年度）を策定しました。

東京オリンピック・パラリンピック関係者輸送ルート（案）

※東京都オリンピック・パラリンピック準備局ホームページを参考

Ⅱ．計画期間

２０１９年度から２０２１年度までの３ヶ年とします。

Ⅲ．公社の現状と課題について

（1）２０１７年度　各路線の交通量及び料金収入

①交通量　（単位：台/日）

有料道路名	鴨　川	千葉外房	東　金	新大橋	連絡道	九十九里
計　　画	7,129	7,787	8,302	7,856	7,798	4,965
実　　績	6,630	6,014	4,943	4,242	5,654	1,737
対計画比	93.0%	77.2%	59.5%	54.0%	72.5%	35.0%

※房総スカイライン有料道路を除く。（南房総地域交通円滑化対策事業として無料通行措置を実施）

※九十九里有料道路は全線開通（２０１７年１２月２４日）以降の平均交通量

②料金収入　（単位：千円）

有料道路名	鴨　川	千葉外房	東　金	新大橋	連絡道	九十九里
計　　画	527,224	837,785	624,332	587,431	627,727	794,382
実　　績	467,827	600,812	362,374	277,505	515,347	70,530
対計画比	88.7%	71.7%	58.0%	47.2%	82.1%	8.9%

※房総スカイライン有料道路を除く。（南房総地域交通円滑化対策事業として無料通行措置を実施）

※九十九里有料道路は全線開通（２０１７年１２月２４日）以降の計画料金収入

（2）附帯事業

施　設　名	有 料 道 路 名	施　　設　　等	駐 車 台 数
大野休憩所	千葉外房有料道路	トイレ　他	３４台
一宮休憩所	九十九里有料道路	トイレ・売店　他	３５台

※2017 年 12 月にリニューアルオープンした一宮休憩所

（3）受託事業

受 託 事 業 名	事業延長（㎞）	全体事業費（億円）	事 業 期 間
山武東総道路二期事業	５．０	１００．６	2004～2023

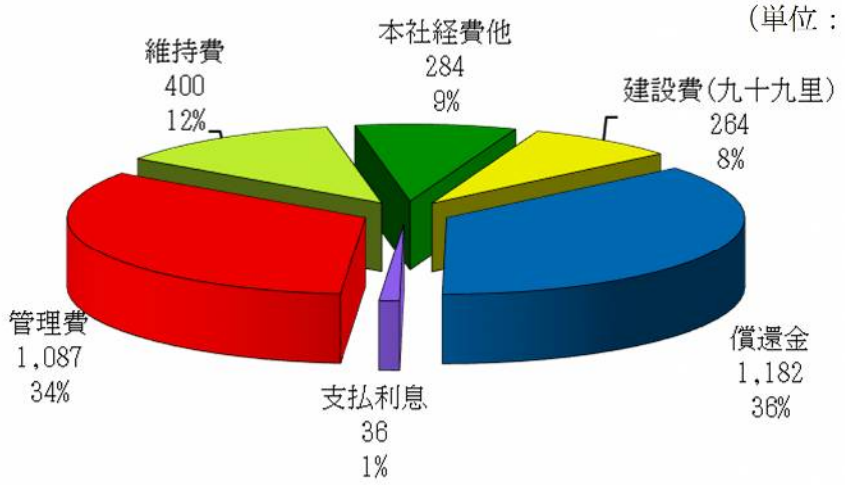
（４）経営状況

①収支の状況

２０１７年度の収益総額は約３３億円であり、その大半がお客様からの料金収入となっています。

一方、費用は約１２億円を建設に要した借入金の返済及び利息の支払いに充当しており、残る約２１億円は安全・安心・快適な通行を確保するために必要な道路の維持費及び管理経費に充てています。

（単位：百万円）



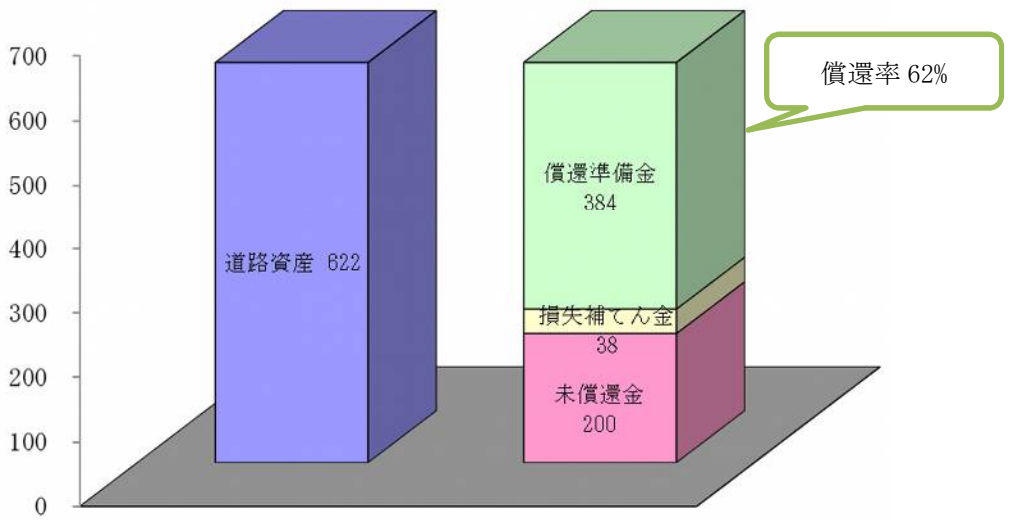
②借入金の償還状況

２０１７年度末での道路整備特別措置法に基づく７路線の道路建設費に相当する道路資産額は、約６２２億円となっています。

道路公社の有料道路事業は、借入金で道路を建設し料金収入によって返済するものであり、定められた償還期間内に借入金の全てを償還しなければなりません。

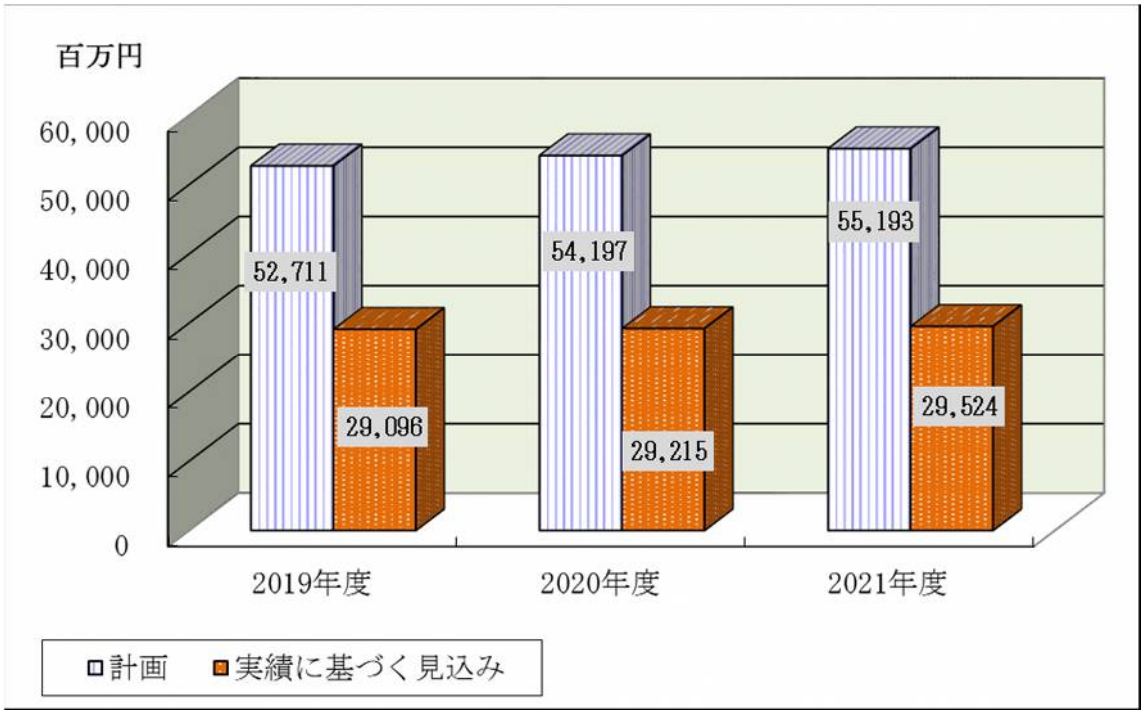
償還状況を示す償還準備金（各年度に借入金返済に充てた金額の累計額）は、約３８４億円となり、営業中道路の投資額に対する償還率（営業中道路の投資済額に対する償還準備金の比率）は、約６２％になっています。

（単位：億円）

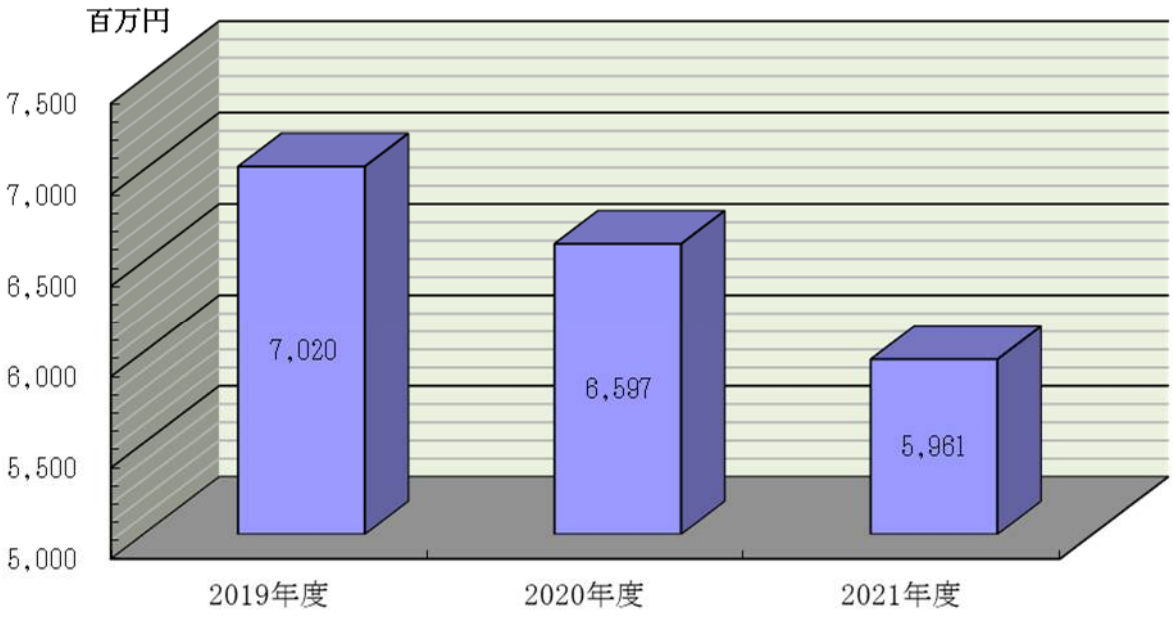


（５）今後の見通し

①償還準備金の見込み



②借入金残高の見込み（年度末）



③役職員等の見込み　　（単位：人）

項　目		２０１９	２０２０	２０２１
常勤役員数		２	２	２
常勤職員数		３３	３３	３２
	プロパー職員	２０	２０	１９
	嘱託職員	１３	１３	１３
	県派遣職員	０※	０※	０※
合　計		３５	３５	３４

※県派遣職員については、県からの受託事業の状況により増員となる場合があります。

（６）公社経営の課題

各路線の当初計画における収支見通しは、計画策定時の道路交通センサスを基に算定しており、当時は接続する道路計画や関連する地域開発計画等により交通量は右肩上がりの予測でしたが、供用開始後の経済情勢や人口構造の変化等により、実際の交通量と比較すると、各路線とも計画との乖離が生じています。

特に近年では、周辺道路の整備が進んだことや若年層の自動車離れなどもあり、利用台数はさらに減少傾向となっています。

直近の決算値では、２０１７年度における７路線（無料通行措置中の房総スカイライン有料道路を除く。）の料金収入は３２億５千万円と計画に対し６９．２％となっています。

一方、費用については、経常経費である舗装修繕や橋梁塗装に加え、当初の計画では見込めなかった道路インフラの定期点検や橋梁の耐震補強、さらに、労務費・資材価格の上昇、塩害や鳥獣対策等に伴う維持管理費が増大しており、公社経営は大変厳しい局面を迎える見通しとなっています。

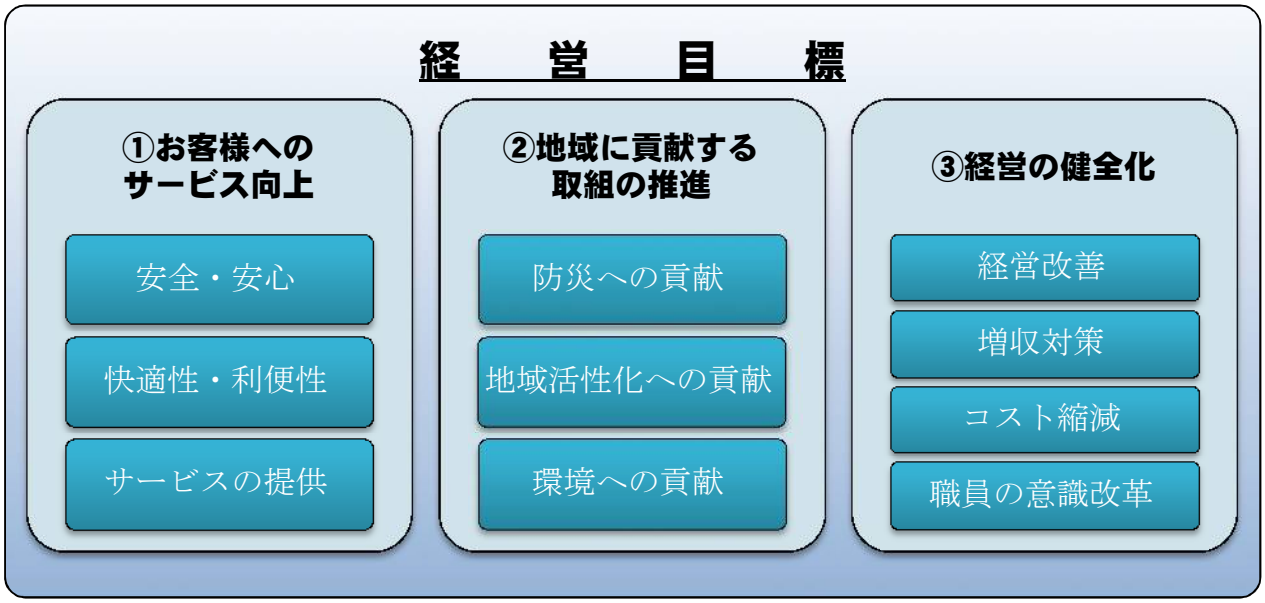
また、２０１９年度には房総スカイライン有料道路、鴨川有料道路、２０２２年度には千葉外房有料道路の無料開放を予定しており、管理路線数が減少となり未償還金対策についても喫緊の課題となっており、一層の利用促進策や経費削減策に取り組む必要があります。

有料道路の整備によって地域産業基盤の強化や円滑な経済活動の確保、観光産業の推進など経済活動を支えるだけでなく、災害時における緊急輸送や救急搬送を提供するなど貢献しております。

Ⅳ．経営目標

お客様への「おもてなし」の心を常に心がけ、経営目標は次の３つの柱を基本とします

1　お客様へのサービス向上
2　地域に貢献する取組の推進
3　経営の健全化



①　お客様へのサービス向上

お客様へ、「安全・安心」はもちろんのこと、さらに「快適性」と「利便性」を感じられるよう、常にお客様の視点に立って満足度の高い道路サービスの提供に取り組みます。

具体的な行動計画は、次のとおりとします。

（１）安全・安心

具体的な取り組み

①着眼点を絞った道路パトロールを行います

・本線のみでなく側道や高架下などからも道路状況を確認し、損傷等を早期発見します。

高架下の状況確認

②お客様の安全な走行に配慮した維持管理を的確に推進します

・走行性や視認性等、お客様が安全に走行できるよう維持管理を行います。
・交通事故多発箇所における、事故原因の究明と対策を行います。
・道路利用者及び第三者の被害を防止する観点から、法令に基づいた定期点検を実施し、道路施設の健全度を把握するとともに今後対応が必要な施設については、計画的に修繕を実施します。

③危機管理体制を徹底します

・地震、台風、降雪時においては、平成２３年３月に発生した東日本大震災等を教訓として、新たな「千葉県北西部直下地震」で想定される災害に対しても応急・復旧対策をとれるよう万全を期します。
・路線毎に設定した災害時の規制実施基準を基に、状況に応じた職員の初動行動対応マニュアルを充実させ実行性のあるものとします。
・災害時における本社・事務所等との連絡手段の確保、関連する道路管理者との連携強化を図ります。
・災害発生時から速やかな復旧までの活動手順を整備するため策定した「事業継続計画（ＢＣＰ）」を料金徴収業務受託者と連携した計画に強化します。
・地域住民の方々の緊急かつ一時的な避難場所として、道路施設を一時避難場所とすることが可能かどうか検討します。

（２）快適性・利便性

具体的な取り組み

①東京オリンピック・パラリンピックへ協力します

・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会からの協力要請に対し可能な限り協力します。

・大会開催を契機に、休憩所施設の案内表示やパンフレットの外国語表記等に積極的に取り組み、海外からのお客様が利用しやすい有料道路とするなど、オリンピックレガシーとなるように努めます。

②利用者にわかりやすい案内標識、道路情報等を表示します

・地先名の連続性や周辺道路との整合性の確保が適切に行われているか点検し、お客様への的確な情報提供を図ります。

・誤進入、逆走防止対策のための路面標示、案内板設置に努めます。

軽車両等の誤進入対策

インターチェンジ部の逆走対策

③本社・料金所等でのさわやかな対応を徹底します

・お客様へ誠意をもって、心のこもった挨拶と笑顔で接します。

・料金徴収員のお客様サービスに対する意識向上に努めます。

・お客様からのクレーム等があった場合には、真摯に受け止め改善できることは積極的に行います。

④ＥＴＣの動向を調査します

・ＥＴＣに関わる整備費、運用費について他県道路公社や関係機関等から情報収集を行うとともに、簡易的なＥＴＣの技術開発の動向を注視し、導入について検討を行います。

⑤新技術の導入を検討します

・高い道路サービス向上と効率的な経営に資するため、新技術の導入について財政的な状況も勘案しつつ検討を行います。

（３）サービスの提供

具体的な取り組み

①周辺施設や企業と連携を図り、多様なサービスを提供します

・有料道路周辺の観光施設や道の駅等と新たな連携を図り、有料道路の領収書やパンフレットを活用した、多様なサービスの提供に努めます。

道路公社作成パンフレット

②道路情報や休憩施設における観光情報等の提供を充実します

・お客様により快適に利用していただけるよう、ホームページには「意見箱」、休憩施設には「アンケート箱」を設置し、お客様の声に耳をかたむけ、満足を得られるよう努めます。

・道路の附帯施設である休憩施設やトイレをお客様がより快適に利用できるスペースとするため清掃等に気を配ります。

・ホームページを随時更新し最新の観光施設等の情報提供に努めるほか、お客様へ有料道路に関わる情報、Ｑ＆Ａ等をわかりやすく提供します。

・休憩施設に有料道路周辺や県内各地の観光施設等のパンフレット、割引券等の設置に努めます。

③安全運転の啓発を目的とした活動を実施します

・安全運転の啓発活動の一環として、春夏秋年末の交通安全運動など千葉県警と連携した交通安全啓発活動に取組みます。
また、毎年元旦の『干支のキーホルダー』や、６（ﾑ）月２５（ｼﾞｺ）日（無事故の日）には、職員が育てた『朝顔（苗）』を配付し、安全運転を呼びかけています。

干支のキーホルダー

②　地域に貢献する取組の推進

千葉県道路公社が管理する有料道路は幹線道路に特化していることから、地域の生活や活性化に貢献できる道路となるよう、地域との連携を図る道路づくりを推進します。

具体的な行動計画は、次のとおりとします。

（1）防災への貢献

具体的な取り組み

①地域住民の安全を確保するための対策を講じます

・緊急輸送道路としての責務を自覚し、被害を受けた道路について、被災者の救護活動や緊急物資の輸送に対処するため、路上の障害物撤去や応急復旧などの道路啓開活動を行います。

また、災害時でもその機能が十分発揮できるよう、耐震補強等を行っていきます。

落橋防止装置取付工

橋脚のコンクリート巻立工

・津波被害時には迅速な人命救助や物資救援ができるよう、千葉県の「くしの歯作戦」に位置づけられている路線において、優先的に道路啓開を行い、救命・救援ルートを迅速に確保します。（別添参考１：千葉県版「くしの歯作戦」道路啓開候補路線図）

・災害時の避難ルートとしての位置付けや避難場所としてのＰＡ等の活用について、地域自治体からの要請に協力し検討していきます。

（２）地域活性化への貢献

具体的な取り組み

①有料道路周辺地域で開催されるイベントなどに積極的に協力します

・有料道路を使用したイベントや有料道路周辺で開催されるイベントに積極的に協力し地域の活性化や千葉県の観光振興に貢献していきます。

・有料道路を通過点とするだけでなく、有料道路沿線の施設、農園や道の駅とのタイアップ等を引続き実施し、地域消費が増加するよう取組を進めます。

・地域イベントへの参加により地域との交流を深め、有料道路事業に理解が得られるよう努めます。

・地方公共団体の実施する事業について、連携を図り協力します。

有料道路周辺で開催されたイベントの参加状況

（３）環境への貢献

具体的な取り組み

①地域の環境問題に配慮した工事手法及び資材の導入を徹底します

・刈草、伐採枝葉の堆肥化や工事により発生する廃材の積極的なリサイクルを図り、廃棄物の削減に引続き努めます。

・再生資材等を積極的に利用し、公共事業における環境影響の負荷の低減を図ります。

・公用車（道路パトロールカー含む）をＥＶ車及びハイブリッド車に随時入れ替えていくことでエコカーの導入を推進していきます。

・LED 照明などの環境に優しい新技術の導入について検討します。

②有料道路沿線にお住まいの皆様への環境対策に努めます

・沿線住民に影響のないよう積極的に剪定、除草作業等に努めます。

③　経営の健全化

近年の長引く景気低迷や人口減少が進む中、中長期的に見ても交通量の増加は期待しにくい状況にあります。さらに、急速に進む道路構造物の老朽化問題は、今後の公社経営の大きな課題となっております。

このような道路公社を取り巻く状況が益々厳しくなる中で、常に事業の効率化を考え、コスト削減を行うことにより、有料道路の経営の健全化を目指します。

具体的な行動計画は、次のとおりとします。

（1）経営改善

具体的な取り組み

①経営基盤の強化や経営の健全化を図ります

・経営状況を改善するため、「経営改善検討委員会」においてさまざまな調査、検討を行い、経営基盤の強化、健全化を図ります。

②有料道路の健全化に向けた総合的な対策を講じます

・県関係部署と公社により構成する「有料道路健全化対策検討会」において、経営状況が悪化しつつある路線については、その原因等を早期に調査、検討するとともに、その改善方策について協議を進め、道路公社が管理する有料道路の健全化に向けた総合的な対策を講じます。

③社内連絡調整会議による各課の連携強化を図ります

・「社内連絡調整会議」による情報の共有化を徹底し、各課の連携強化を図り、多岐にわたる問題点の解決を図ります。

④公正・透明で健全な公社経営を図ります

・経営に関する資料として、前年度の事業計画及び財務諸表を当公社ホームページで公表します。

・千葉県監査委員の定期監査、公認会計士の監事による指導等を適宜受け健全な公社経営を行います。

⑤簡素で効率的な組織体制を確立します

・事業量の将来見通しを行い、業務量に応じた適正な人員体制を検討し、人件費の削減を図ります。

・定年退職したプロパー職員は、知識や経験が豊富であり即戦力となることから、再任用職員として雇用します。

（２）増収対策

具体的な取り組み

①有料道路を利用するお客様の新規拡大を図ります

・県内で開催される各種イベントへの参加やＰＲパンフレットを作成し、県外等にも配布エリアを順次拡大してお客様に道路公社のＰＲを行います。

・圏央道など周辺道路の整備に併せ、有料道路の利便性を周知し、新規のお客様を誘導する方策を検討します。

・東京オリンピック・パラリンピックを契機に、県内外さらには海外から来県されるお客様に有料道路の有益性が認識されるよう、引き続き観光施策と連携するなど、潜在的な需要を掘り起こす取組を検討します。

②リピーターのお客様の拡大を目指します

・距離や時間の短縮を提供するだけでなく、お客様のニーズに応じた多様なサービスを提供することを常に考え、「また利用したい」と思える魅力ある有料道路づくりを進めていきます。

・公社意見箱へのお客様からのご意見に耳をかたむけ、満足度向上に努めます。

③広告料収入を検討します

・「有料道路の地図」や領収書・回数券の裏面に企業広告を掲載するなど新たな収入の確保を検討します。

・ホームページやＳＮＳを活用したバナー設置、ネーミングライツへの取組など新たな収入源の確保を検討します。

④新規事業を調査します

・新規有料道路事業について需要効果を見つけ調査検討を行います。

・駐車場事業の調査検討を行います。

（３）コスト縮減

具体的な取り組み

①維持管理費の削減を目指します

・橋梁の長寿命化修繕計画を策定し、事後的な修繕から予防的な修繕へと転換を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減を図りつつ長寿命化させます。
・個別施設毎のインフラ長寿命化計画を策定し、メンテナンスサイクルの実行やトータルコストの縮減・平準化を目指します。
・コスト縮減につながる新技術、省エネ機器の導入について検討します。
・機器毎の運転状況を把握し、多額の費用がかかる設備機器の更新時期の見直しを行います。
・交通管理業務や料金徴収業務の委託内容をその都度検証し、より適正な執行を図ります。

②借入金金利の軽減を図ります

・民間金融機関からの借入金については、協調融資により安定した資金を確保するとともに、入札方式による資金調達を併用し利息の軽減を図ります。
なお、近年の金融情勢の推移を勘案し安定した資金調達を行うため、調達時点での金融情勢を見極め、借入期間及び借入手法等について、公社経営の安定化に繋がる最善の調達手段を検討します。

③本社経費の削減を図ります

・物品等の購入の際は、その都度、種類や数量等の見直しを行い、経費節減に努めます。
・ＰＤＣＡサイクルにより、経営計画の継続的な改善に努めます。
・職員１人ひとりが、経費節減の意識を持って職務にあたります。
・千葉県に準じた給与改定を実施し、適正な給与水準となるよう努めます。
・ランニングコスト等の見直しにより、経常的経費の削減を検討します。

ＰＤＣＡサイクル

（4）職員の意識改革

具体的な取り組み

①職員の意識改革と資質の向上を図ります

・職員は、常に経営改善やコスト縮減に向けて何をすべきか、問題意識を持って行動するとともに、お客様へのサービス向上に努めます。

・コンプライアンス（法令遵守等）基本方針に沿った適正な事務執行及び行動規範の周知徹底を図ります。

②職員のスキルアップを図ります

・千葉県や公社等連絡協議会の研修プログラムを活用し、職員への積極的な受講を促し個別のスキルアップを図ります。

・人事評価制度を活用し、職員の公社業務に対する意欲と能力が高まるよう、常に上司は部下の業務に目を配り、実績を評価し、業務の質を高く保ちます。

③働き方改革を図ります

・職員一人一人が仕事のやり方の見直しを行い、事務の効率化を図ります。

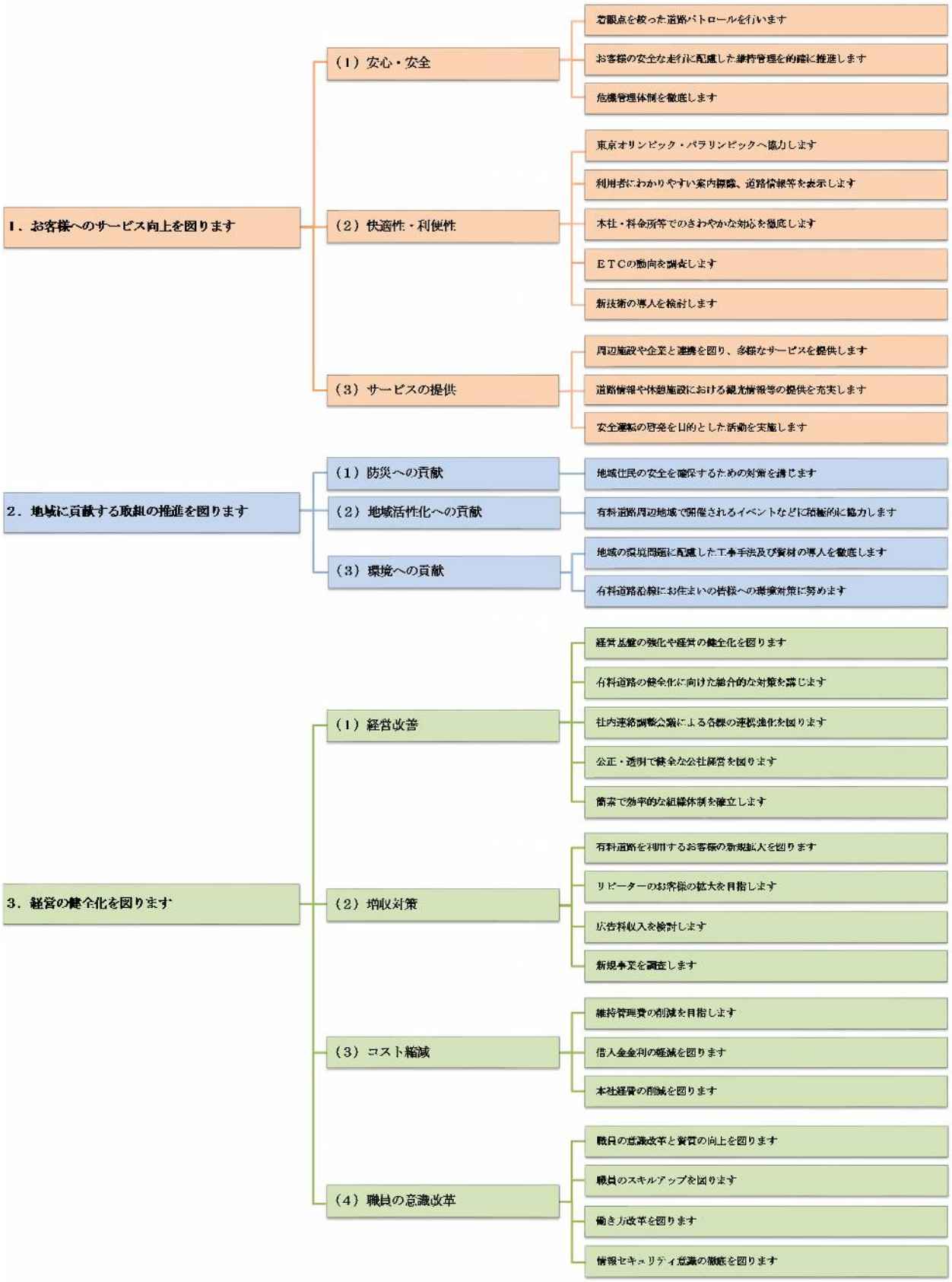
・夏期休暇の完全取得、年休取得率の向上を目指し、働きやすい職場を実現します。

・職員の健康に目を配り、全職員が健康診断を受診することはもちろんのこと、引続き禁煙指導も実施します。

④情報セキュリティ意識の徹底を図ります

・情報セキュリティ意識の向上やセキュリティ事案発生時の適正な対処に関する理解の促進を図ります。

Ⅴ　経営計画体系図


1．お客様へのサービス向上を図ります
（1）安心・安全
着眼点を絞った道路パトロールを行います
お客様の安全な走行に配慮した維持管理を的確に推進します
危機管理体制を徹底します
（2）快適性・利便性
東京オリンピック・パラリンピックへ協力します
利用者にわかりやすい案内標識、道路情報等を表示します
本社・料金所等でのさわやかな対応を徹底します
ＥＴＣの動向を調査します
新技術の導入を検討します
（3）サービスの提供
周辺施設や企業と連携を図り、多様なサービスを提供します
道路情報や休憩施設における観光情報等の提供を充実します
安全運転の啓発を目的とした活動を実施します
2．地域に貢献する取組の推進を図ります
（1）防災への貢献
地域住民の安全を確保するための対策を講じます
（2）地域活性化への貢献
有料道路周辺地域で開催されるイベントなどに積極的に協力します
（3）環境への貢献
地域の環境問題に配慮した工事手法及び資材の導入を徹底します
有料道路沿線にお住まいの皆様への環境対策に努めます
3．経営の健全化を図ります
（1）経営改善
経営基盤の強化や経営の健全化を図ります
有料道路の健全化に向けた総合的な対策を講じます
社内連絡調整会議による各課の連携強化を図ります
公正・透明で健全な会社経営を図ります
簡素で効率的な組織体制を確立します
（2）増収対策
有料道路を利用するお客様の新規拡大を図ります
リピーターのお客様の拡大を目指します
広告料収入を検討します
新規事業を調査します
（3）コスト縮減
維持管理費の削減を目指します
借入金金利の軽減を図ります
本社経費の削減を図ります
（4）職員の意識改革
職員の意識改革と資質の向上を図ります
職員のスキルアップを図ります
働き方改革を図ります
情報セキュリティ意識の徹底を図ります

Ⅵ 参 考 資 料

STEP	候補路線名	道路管理者
STEP 1	首都圏中央連絡自動車道	東日本高速道路株式会社
	館山自動車道	東日本高速道路株式会社
	富津館山道路	東日本高速道路株式会社
	東京湾アクアライン連絡道	東日本高速道路株式会社
	銚子連絡道路	千葉県道路公社
STEP 2	国道126号	千葉県
	主要地方道　八日市場野栄線	千葉県
	主要地方道　成田松尾線	千葉県
	主要地方道　松尾蓮沼線	千葉県
	東金九十九里有料道路	千葉県道路公社
	主要地方道　五井本納線	千葉県
	主要地方道　茂原白子線	千葉県
	国道409号	千葉県
	国道128号	千葉県
	国道297号	千葉県
	国道465号	千葉県
	主要地方道　君津鴨川線（房総スカイライン有料道路）	千葉県 千葉県道路公社
	主要地方道　千葉鴨川線（鴨川有料道路）	千葉県 千葉県道路公社
	国道127号（館山バイパス）	国土交通省
	一般県道　館山港線	千葉県
	国道410号	千葉県
	一般県道　外野鴨山線	千葉県
	主要地方道　竹岡インター線	千葉県
	国道16号	国土交通省
	主要地方道　袖ヶ浦中島木更津線	千葉県
STEP 3	主要地方道　銚子停車場線	千葉県
	一般県道　外川港線	千葉県
	一般県道　銚子公園線	千葉県
	一般県道　愛宕山公園線	千葉県
	主要地方道　飯岡一宮線	千葉県
	国道128号	千葉県
	国道410号	千葉県
	一般県道　南安房公園線	千葉県
	国道127号	国土交通省
	国道465号	千葉県